

鉄道ピクトリアル

2007年7月号 Vol.57 No.7 通巻No.791

〈特集〉 14・24系寝台客車(I)

■表紙 九州特急に登場当時の24系……………浜村正弘

向日町運転所 1974-6-8

■グラフ

落日に映ゆ(1~8ページ)

……………石原裕紀・太田正行・久保 敏・浜村正弘・清藤清常
……………三沢 孝・岡本文彦・藤木正成・千葉恵一

*

14系・24系寝台客車……………構成：藤田吾郎… 41
京王 新旧車両入替／上海の保存蒸気機関車……………戸辺力雄ほか… 56

*

Pictorial Color Gallery 「川造型」健在なり

……………大野 義久…113

JR 東海・JR 西日本 N700系量産車／JR 東日本キハ E200形
久留里線にトロッコ列車運転／東武鉄道50070系・9000系
東京地下鉄副都心線乗り入れ対応車／東京都9000形／長
良川鉄道ナガラ500形／錦川鉄道 NT-3000形／西鉄宮地
岳線を貝塚線に改称／餘部橋梁架替工事着工／JR 貨物
20周年ヘッドマークほか

116~120

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)……………121

阪急電鉄のヘッドマーク付き列車—2006年度版— ……成瀬 伸夫…128

JR 東日本 東京圏通勤形電車の近況 ……写真：石田敦巳ほか…130

相模鉄道の近況 ……構成：大里信之…132

九州地区 第三セクター鉄道の話題……………宮川 浩一…134

ブエノス・アイレスのオールドタイマー……………園田 淳…136

■本文

今月の話題：寝台車の視点 ……編集部… 9

松澤浩氏に聞く14系寝台車の設計とその時代

……………聞き手：岡田誠一・構成：服部朗宏… 10

14・24系寝台客車のあゆみ 国鉄編 ……岡田 誠一… 22

14・24系寝台客車 運転のあゆみ(I) ……三宅 俊彦… 58

[14系・24系寝台客車 形式図・車歴表(I)] ……73~93]

*

鉄道の話 ……編集部… 57

JR 東日本キハ E200形 ……白木 直樹… 94

ブエノス・アイレスにスプテ(地下鉄)をみる……………園田 淳… 99

私の鉄道人生75年史 第7回

新米車両課員の日々(その2) ……里田 啓…108

書評(525)『吊掛讃歌①』 ……和久田康雄…112

特別企画 あの日、私もそこにいた——国鉄改革から20年

……………松本 正司…137

京浜急行電鉄 新1000形 6次車……………鬼武 朋之…145

平成19年度 JR 各社事業計画等について ……編集部…150

知られざる名鉄電車史(I)

郊外線草創期の車両—デシ500形とその仲間たち…名鉄資料館…156

4月のメモ帳 ……166

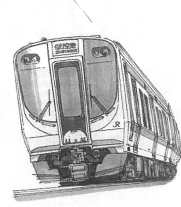
読者短信・情報ファイル ……167

後部車から ……171

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru

今月の話題



カット：山本茂樹

寝台車の視点

1900(明治33)年、山陽鉄道が日本初の寝台車を導入以来、その歴史はすでに100年を超えている。当初は富裕層の乗り物として、一般庶民には手が出ない贅沢車両と見られていたが、鉄道の発展、旅行者の増加とともに昭和初期に3等寝台が登場、そして戦時期を経て、戦後の鉄道の復興とともに、寝台車は広く普及し、夜行列車には欠かせない存在となったのである。1955(昭和30)年以降、軽量客車にハネ、ロネが新製され、1958(昭和33)年には特急用として20系固定編成客車がデビューした。

さて、本誌1976年6月号で掲載された田中宏氏の発表では、日本における寝台車の技術的独自性という観点が紹介されている。すなわち、乗車中は着席しているだけの座席車と異なり、寝台車内の乗客は車内で着替え、横になって眠り、朝は洗面をするという生活を過ごしながら旅行する部屋であるから、その時代の国民生活の要望度合と寝台車の具備すべき基準は密接な関係を持っているとし、①スペースと乗り心地 ②空気調和と照明 ③接客設備の自動化 ④列車の魅力がその要件であるとしている。魅力とは乗客の夢や旅情に沿うものであるということだ。

本欄では詳細を掲げられないが、こうした見地からみると10系や20系寝台客車、1967(昭和42)年にデビューした581・583系寝台電車、さらに本号特集の14・24系寝台客車の興味も一層深いものになるように思われる。1971(昭和46)年に第1陣が落成した14系寝台客車では、基本配置は20系に準じているが、寝台スペースは異なったものになった。また、電源方式も分散タイプとなったが、そうしたさまざまな変化の背景を読み解き理解することが、寝台車記録の視点として重要であると思われる。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawa-
machi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan